

# 男女共同参画が日本を救う

—女性を活躍させないと日本社会がもたない

中央大学文学部教授 山田昌弘

- \*世界の風潮に逆行
- \*財政危機に陥る一因
- \*利益率が高い女性活躍の企業
- \*生きる細やかな人間関係
- \*フルタイム共働きは消費が盛んに
- \*来なかった消費「黄金の時代」
- \*男一人では家庭維持は難しい
- \*海外に出ていってしまう日本女性
- \*婚活をしたほうがましとも
- \*次のテーマは引退後の海外移住？



浅野 開会いたします。（拍手）

山田さんには——中央大学の山田昌弘先生と  
言うべきところつい山田さんになってしまいま  
すが、山田さんには12年前、7年前、2年前と、  
3回ご講演いただいています。ですから、5年  
ごとに定点観測的に日本の家庭や若者、あるい  
は女性の就業の問題といった家族社会学の話を  
していただこうと申し上げた記憶がありますけ  
れども、状況が状況なので、今回は5年待てず  
に、2年たったところでお願ひしてしまいまし  
た。

山田 昌弘  
毎回とてもユニークなお話をしていただいで  
います。山田さんは「希望格差社会」とか「パ  
ラサイトシングル」とか、的確に時代を切り取  
った新語をつくれます。本当は商標権を持っ

ておられるはずですがけれども、もう一般的に、  
皆さんが山田さんのつくった言葉だということ  
を忘れて使っているようです。

今回は、新著の『家族の衰退が招く未来』が  
東洋経済から昨日出たばかりです。まだ湯気が  
立っているような本ですが、今日の講演  
が良かったら、ぜひお買い求めいただきたい。  
（笑）山田さんは話の枕がともお上手で、し  
かも長くて面白いのです。枕というのは普通は  
短いですが、今日もできたら枕をちょっ  
と振っていただきたいと思えます。それではよ  
ろしくお願ひいたします。（拍手）

山田 たいまご紹介にあずかりました中央  
大学の山田昌弘でございます。こちらで何度か  
講演をいたしておりますので、もしかしたら話